

歌と幸せを届けます!! ~Happy & Peace~

私たち、Happy&Peaceは歌を通して仲間作りのサークル活動をしています。主な活動は、第2・第4金曜日に『夢や』の表さんの指導のもと愉快地楽しく練習しています。

今年の夏には、ついに初舞台・初デビュー!!

夢や主催のふれあい福祉音楽会で「サトウキビ畑」と東日本大震災の復興ソングである「花は咲く」を歌い、会場から大きな拍手を頂きました。

Happy&Peaceという名前は、音楽は人と人との心をつなぎ、そして世の中の幸せと平和を祈って名付けました。

みなさんの応援を力に多くの人に幸せと平和を届けられるように歌ってまいります。



『夢やの表さんを囲んで』

ぜんせいれん全国大会 in 富山

9月13日(土)、富山県総合福祉会館サンシップとやまにて「ぜんせいれん全国大会 in 富山」が開催され、なごみの郷からはつばさの研修旅行として利用者とスタッフ総勢13名が参加しました。

9つのテーマで構成された分科会は次々と定員が埋まる程の人気ぶり。皆さんの関心の高さが窺えました。

今回初めて参加したというメンバーさんが多い中、積極的に発言をしたり、他の参加者の方たちとの交流を図るなど、刺激と学びの研修となりました。

相談支援センターはまかぜ

能美地域活動センターはまかぜの中にある相談支援事業所です。現在は相談員は1人増員となり2人で能美市、川北町を飛び回っています。

これまで以上に相談者が安心して自立への一歩を踏み出せるように、地域の方々や他機関と連携をとりながら、ご本人やご家族の思いに寄り添った支援ができるよう努めてまいりますので、どうぞ宜しくお願い致します。



~これまでの動き 8月から11月~

【メンボラ友の会】	【販売会】	【行事】
8/16 ほっとサロン	8/07 第2松寿園夏祭り	8/22 ふれあい音楽会
9/11 視点の会	8/20 市民病院病棟夏祭り	8/31 ふれあい福祉運動会
9/20 ほっとサロン	8/24 人権啓発フェスティバル2014	9/13 ぜんせいれん大会
9/29 絵手紙の会	9/28 県障害者ふれあいフェス	9/19 航空祭前日見学
9/29 味噌開き	9/25 松寿園夏祭り	9/22 ころゆり小旅行
10/9 視点の会	10/05 第2松寿祭	10/17 みんなねっと
10/15 視点の会	10/12 どんどんまつり	
【こまつ看護学校実習生】	10/16 } みんなねっと	
9/17~9/18...6名	10/17 } みんなねっと	
10/08~10/09...5名	11/02 北浅井町公民館祭り	
10/22~10/23...5名		
11/05~11/06...5名		
【日本福祉大学実習生】		
8/27~9/08...1名		



~ 編集後記 ~

あたたかい飲み物がおいしい時期になりました。ココア、コーヒー、紅茶、日本茶、ホットレモンなどなど...皆さんは何がお好きですか?私のおすすりは生姜入り紅茶です。

By うの



編集人: 社会福祉法人 なごみの郷
連絡先: 〒923-0851 石川県小松市北浅井町 123
TEL 0761-23-7232/FAX 0761-23-7284
ホームページアドレス
URL <http://www.nagomi-no-sato.com>
発行人: 北陸障害者定期刊行物協会 (富山市今泉 312)
定価 50円

増刊 HSK なごみ通信

今月の花: ネリネ



No.45 2014.11

防災訓練 & 救急救命訓練!!



なごみの郷では、年2回、事業所ごとに防災訓練を行っています。その1回目の訓練として7月に「ころゆり」、9月には「つばさとグループホーム」の利用者とスタッフが小松市民防災センターへ行き、さまざまな体験を行って来ました。

防災センターでは、災害の恐ろしさや起きた場合の対応についての映画を3Dシアターで観たり、煙の中を移動して避難する体験や、消火器を使って火を消す模擬体験をしたりと、いざという時に落ち着いて行動できるよう、皆真剣に訓練に取り組みました。

また、スタッフの研修として小松市消防本部の救急救命士の方たちになごみに来ていただき、救急法の講習会を行いました。AEDの使い方や心肺蘇生法といった一次救命処置の講習に加え、実際に119番通報して電話越しに隊員の指示を受けるなどの体験をしました。緊張感のある雰囲気スタッフの真剣味も増し、とてもよい経験になりました。

防災センター感想

『3Dシアターについて』

いつ災害があっても大丈夫なように用意しておくことが大事だと分かった。(Aさん)

『煙体験について』

低く屈んで、壁伝いに歩くことを覚えた。(石本)

『消火器訓練について』

火は消せなかったけど、消すコツを教えていただいたので安心した。(高田)

～就労支援センターつばさ～

作業紹介シリーズ② ～いり菓子製造～

むかし懐かしい「ぼん菓子」。つばさではいり菓子加工を行っており、生協や道の駅、市内外のイベントで販売をしています。いり菓子作業は技が求められる加工から簡単なシール貼り。商品管理、計量、袋詰めなど様々な工程があります。今回は菓子担当のメンバーさんに日頃の作業の感想をお聞きしました !!



～いり菓子加工～

～製品の袋詰め～

～商品完成～

～販売会～

いり菓子を掻き出す時、一粒も取り残さないようにするために老眼鏡を作りました。いり菓子加工がなごみの主流になっている事は忘れてはならないことだと思います。(石本さん)

周りの方に助けて頂きながら仕事をさせてもらっている。支えて下さっている方たちに感謝。(高田さん)

2人と3人では作業ペースが3分の1程度違う。(Tさん)

袋詰めをしていて時々計量がぴったりであることが嬉しそうです。(Kさん)

シールをきちんと貼るのが大変です。(Yさん)

加工する際は火を取り扱うため、作業部屋はとても暑く、いり菓子自体も高温で大変ですが、うまきはじけた時はとても嬉しそうです。異物混入には特に気をつけて作業しています。(Mさん)

最初シーラーの仕事がなかなかうまくいなくて苦労したが、何年もやっているうちに慣れてきて、今ではそれがやりがいになり元気にやれるようになった。(Sさん)

(富樫)

菓子の袋詰めをしています。大豆、玄米、三色白米など、色々種類があって楽しいです。(Yさん)

～能美地域活動センターはまかぜ～

グループワークやってるよ～

平成26年度“はまかぜ”講演会

—仲間と共に Small Step—

『青年期の発達障害の特性と発達障害を持つ人への対応について』



なごみの郷の地域の障害福祉貢献活動の一環として能美市共同募金委員会より助成をいただき、10月4日(土)能美市根上学習センターにて石川県発達障害支援センターの荒木暢通氏をお招きして講演会を開催しました。

講演では地域の障害福祉に関わる方が多数参加され、事例を交えながら発達障害の障害特性や支援の仕方、またセンターで行っているグループ活動についてのお話がありました。

またグループ討議では率直な意見交換がなされ、障害についての幅広い理解を得る必要性と、早期発見の重要性を再確認できる有意義な講演会になりました。

これからも利用者の方、ご家族の方、能美地域のみなさんが“はまかぜ”があって良かったと言ってもらえるような事業づくりをめざして仲間と共に Small Step—していきたいと思ひます。(小川)

はまかぜでは、朝の全体ミーティングの司会や毎週月・水・木にグループワークを行っています。

朝のミーティングでは利用者全員が順番に司会進行しています。マニュアルがあっても初めは皆さん緊張して職員のサポートが必要でしたが、何度か行くと一人で出来るようになりました。

またグループワークでは実生活での場面をテーマにしてみんなでいろいろな意見を発表してもらい演劇で疑似体験等を通して利用者の方にイメージをつけてもらっています。自分の意見を伝えたり他の人の話を聞く機会にもなっています。

活動を通していろいろな場面で対応できるように自信を付けていって頂けたらいいと思ひます。



グループワークの様子



朝礼マニュアル

～グループホームなごみ～

フレンズの会 ～勉強会編～

毎週水曜日のフレンズの会では勉強会を行っています。

利用者からの「健康に良い食事について勉強したい」という声から始まりました。今では“英語”“漢字”、そして食事を含めての“健康”についてをみんなで勉強しています。



健康について勉強中。なるほどそうだったのか!!

只今、漢字の勉強中!!
何問合っているのかな



英語ではCDを先生にして声に出しながら英会話を中心にしています。なかなかCDのように言うことは難しく、何度もCDを繰り返して学んでいます。

健康については、高血圧や肥満、糖尿病などの生活習慣病から体の基礎知識まで、皆さん自身が疑問に思っていること、身近なことを取り上げてしています。

漢字の勉強はワークを解いて皆で答え合わせをしています。これからもたくさん学んでいこう!!

(金谷)



～地域活動センターくろゆり～

みんなねっと石川大会

10月17日(金)に“全国精神保健福祉家族大会みんなねっと石川大会”にくろゆり&はまかぜの利用者さんとスタッフが参加してきました。テーマによって5つの分科会に分かれ、

そのうち2つの分科会になごみの郷の荒田理事長と中田部長がコーディネーターとして出席しました。それぞれ興味のある分科会に参加し、帰りの車内ではお互いに感想を言い合い、有意義な1日を過ごせました。

～みんなねっととは?～

公益社団法人 全国精神保健福祉会連合会のごとで、精神に障がいのある方の家族が結成した団体のことです。精神障がいのある本人と家族が安心して暮らせる社会を目指して、機関誌の発行や全国大会といった学習・啓発活動、家族や当事者からの相談を受けたり相談を受ける人の育成をしたりする活動など、さまざまな活動を行っています。

(みんなねっとのホームページから引用)

荒田先生の話が面白かった。静かな雰囲気良かった。
テーマ“障害のある本人の活動”
(くろゆり：H・T)

楽しく話を聞けてよかったです。代表で来た3人の方の話は難しかったです。よかったです。
テーマ“障害のある本人の活動”
(くろゆり：H・K)

途中から入ったので、流れがわからなかったが、「一人暮らしで不自由な点は？」との問いかけに3番目に発表した人が、昔は完璧主義だったが、出来ないことが多くなり、許す余裕も必要だと分かった。酒が好きで、居酒屋にしょっちゅう居るので、1日1食だけ常套と聞いて安心した。
テーマ“障害のある本人の活動”
(はまかぜ：米田)

少しでも自分たちを理解してもらおう、病気を良くしていこうという医師たちの頑張りや聞いて、少しずついいから、小さなことでもいいから、日々頑張っていこうと思ひました。
テーマ“偏見・差別”
(はまかぜ：坂井貴)

